

## てき せんすいかん 敵の潜水艦

さんせん こうげき せんすいかん せんごこくせきふめい せんすいかん  
三船を攻撃した潜水艦は戦後国籍不明の潜水艦  
といわれてきましたが、きゅう れんぐん せんすいかん  
旧ソ連軍の潜水艦である  
ことがわかりました。

れんぼうかいぐんたいへいようかんたい しょぞく  
ソビエト連邦海軍太平洋艦隊に所属するレーニ  
きゅうせんすいかん せき  
ネツ級潜水艦L-12とL-19の2隻です。

せき つぎ にんむ か  
この2隻には次のような任務が課せられていたこ  
とがわかっています。

づけ めいれいしょ  
8月19日付の命令書には

だい きょくとうせんせん ほっかいどうほくぶせんりょう にんむ お  
・第1極東戦線は、北海道北部占領の任務を負  
う。

みめい せんりょうぐん るもいこうじょうりくよてい  
・8月24日未明、占領軍の留萌港上陸予定。

たんさく せんりょうぐんはんそうえんご  
探索(\*32)と占領軍搬送援護(\*33)のため、8月  
23日20時まで、じ るもいこう せつきんろ  
留萌港およびそこへの接近路

### \*32 探索

未知の事柄などをさぐり調べること

### \*33 援護

助けること

たんさく じいこう てき ぐんかんそうとう てきぐん  
探索、20時以後、敵の軍艦掃討(\*34)および敵軍

かんしゅつげん ほうこく こうこうちゅう てき せんぱく  
艦出現の報告をする。また、航行中の敵の船舶は  
すべてげきめつ  
すべて撃滅する。

とありました。

そして、8月19日19時に母港ウラジオスト  
ク港をこう しゅつこう  
出港したのです。そして8月21日14時  
30分にはぶん るもいこうせつきんろ かいいき どうちやく じゅんし  
留萌港接近路の海域に到着して巡視  
かつどう はい  
活動に入りました。

L-12のこうどうきろく  
行動記録によると、8月22日4時2分  
ゆそうせん かくにん こうげき じ ふんゆそうせんちんぼつ  
輸送船を確認し、攻撃。4時18分輸送船沈没と  
あり、これはおがさわらまる こうげきちんぼつじかん いっち  
小笠原丸の攻撃沈没時間と一致しま  
す。L-19のこうどうきろく ほくい ど ふんとうけい  
行動記録には北緯44度08分東経1  
41度30分ど ふんゆそうせんげきちん たいとうまる  
輸送船撃沈とあり、これは泰東丸の  
こうげきちんぼつばしよ いっち せきそんしょう お  
攻撃沈没場所と一致します。また、1隻損傷を負

#### \*34 掃討

敵などをすっかり撃ち払うこと

るもい きこう ほうこく だいい ごう  
って留萌に帰港と報告しています。これは第二号  
しんこうまる かんが  
新興丸のことと考えられます。

あと こうえいまる いしざき ついび ご ご じころ  
この後も高栄丸と石崎を追尾し、午後5時頃  
ふじよう せき かんが まちが  
浮上した2隻はL-12とL-19と考えて間違いない  
でしょう。

たいへいようかんたいしれいぶ ゆそうせん こうげきちゅうしめいれい  
太平洋艦隊司令部から輸送船への攻撃中止命令  
で  
が出たのは22日23時58分で、翌23日0時  
ふん にほんせんこうげききんしめいれい はっ  
02分には日本船攻撃禁止命令が発せられまし  
た。その後の任務は偵察(\*35)のみとなりました。

にんむしゅうりようご ぼこう きこう  
任務終了後、L-12は母港に帰港しましたが、L-  
19は8月23日14時04分以降連絡が取れなく  
そうやかいきょうおうだん さい にほん きらい ちんぼつ  
なり、宗谷海峡横断の際に日本の機雷により沈没  
したものと考えられています。

#### \*35 偵察

敵（相手）の様子・動きや地形などを（こっそり）観察・観測し、その情報をとること

艦名	L-12	L-19
艦種	レーニnetz級潜水艦 第2改系列	レーニnetz級潜水艦 第13系列
艦長	シェルガンツエフ海軍大尉	コノネンコA. S. 海軍少佐
乗組員	55名	55名
全長	85.3m	85.3m
全幅	7.0m	7.0m
兵装	<p>B-24 1936年型10cm(51口径)単装速射砲1基</p> <p>21-K 1934年型4.5cm(46口径)単装高射砲1基</p> <p>53.3cm水中魚雷発射管単装8門(前部6門、後部6門、予備魚雷18本)</p> <p>機雷18発</p>	<p>B-24 1936年型10cm(51口径)単装速射砲1基</p> <p>21-K 1934年型4.5cm(46口径)単装高射砲1基</p> <p>53.3cm水中魚雷発射管単装8門(前部6門、後部6門、予備魚雷18本)</p> <p>機雷18発</p>

## 攻撃した潜水艦の概要

### 留萌沖三船遭難犠牲者

船名	状況	乗船人数	生存者	死亡・行方不明者
おがさわらまる 小笠原丸 (1,456トン)	ましげべつかりおき 増毛別荘沖で、潜水艦魚雷攻撃で沈没	702人	61人	死亡 641人
だいごうしんこうまる 第二号新興丸 (2,577トン)	おびらむらおにしかおき 小平村鬼鹿沖で潜水艦の魚雷攻撃を受け大破しながら留萌港に入港	3,600人	3,200人	死亡 250人 行方不明 150人
たいとうまる 泰東丸 (887トン)	おびらむらおにしかおき 小平村鬼鹿沖で潜水艦の砲撃で沈没	780人	113人	死亡 667人
合計		5,082人	3,374人	1,708人



潜水艦L-12	潜水艦L-19	高栄丸(6,774トン) 海軍特設敷設艦 石崎(720トン) 海軍敷設艦
		15日迄に機雷敷設
出港準備命令 艦長へ命令書伝達 ホーションへの移動のため出港		
巡視地点到着		
輸送船確認攻撃 開始(04:02) 輸送船沈没 (04:18)	大泊への接近路 に出て敵艦掃討 命令 攻撃開始命令  北緯44度08分東 経141度30分輸 送船撃沈。更に1 隻損傷を負って 留萌に寄港と報告	稚内を横須賀に向け出向 (乗組員300人)  小平町沖で泰東丸の 生存者123人救助 潜水艦2隻の浮上を察知
輸送船は攻撃しないように命令		
日本船攻撃は禁 止。偵察任務の み命令 艦長命令受領確 認	以降応答なし 沈没?	積丹半島の神威岬を 突破